

評価シート（年度評価）

名古屋市障害者スポーツセンターの管理運営状況

1 基本情報 <所管局:スポーツ市民局>

指定管理者	社会福祉法人 名古屋市総合リハビリテーション事業団		
主な業務内容	障害者スポーツセンターの管理運営		
評価対象期間	令和2年4月～令和3年3月	指定管理期間	平成29年4月～令和4年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
1 基本事項	(1) 平等利用	市民の利用にあたって不公平が生じていないか。	○	配置基準を上回る指導員の配置など、利用者サービス向上に努めている。
	(2) 開館の実績	利用日・利用時間が遵守されているか。	○	
	(3) 情報管理	情報の管理・保護が適切になされているか。	○	
	(4) 職員体制	職員の配置、勤務実績、労働環境等は適切か。	◎	
	(5) 法令等の遵守	法令、協定書等を遵守しているか。	○	
	(6) 事故・災害等への対策・対応	事故・災害等発生時の対策・対応が行われているか。	◎	
	(7) 環境配慮	環境に配慮した取り組みを行っているか。	○	
2 維持管理	(1) 建物・設備の保守点検	建物・設備が適切に管理されているか。	○	日々の点検が適切に行われ、利用者に快適な状態を保持している。
	(2) 警備業務	安全で安心感のある環境を確保しているか。	○	
	(3) 衛生管理	利用者が快適に利用できる状態が保持されているか。	○	
	(4) 備品の管理	備品が適切に管理されているか。	○	
3 サービス	(1) 利用実績	当初の目標通りの利用実績を挙げているか。	○	利用者アンケート全体の満足度が96.2%と高い評価。SNSを活用し、積極的に情報提供を行っている。
	(2) 事業実施状況	計画通り事業が実施されているか。	○	
	(3) サービス提供状況	利用者へのサービスの提供は適切に行われているか。	○	
	(4) 利用者満足度	調査を実施し、結果を検証し、改善を図っているか。	○	
	(5) 苦情・要望の把握・対応	利用者の意見、苦情を受けて、迅速に対応できているか。	○	
	(6) 広報・PRの実施	施設及び事業PRの取り組みは行われているか。	◎	
	(7) 関係機関等との連携	関係機関等と連携や協働が図られているか。	○	
	(8) 施設機能の発揮	障害者スポーツの拠点として機能しているか。	○	
4 経費等	(1) 執行状況	指定管理料の執行等は適正になされているか。	○	適切に経費の執行が行われている。
	(2) 再委託	再委託の方法は適正か。	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月～5月の臨時休館、夜間の利用停止など、施設の開館時間が大幅に減少し、施設利用実績が減少した。また、障害者スポーツ大会や教室等の各種事業を中止したため、実施数は昨年度を下回っているが、新規職員をキャラバンなどの実践事業に同行させるなど、事業中止の相次ぐ中でも職員の研修に努め、利用者アンケート全体を通じた満足度は96.2%と高い水準にあることから、適切に管理運営されていると言える。 今後はコロナ禍においてもより多くの方に施設や各種大会・教室等を利用していただけるよう、一層の広報啓発のほか、新しい基準での大会や事業の実施方法を検討し、障害者スポーツの振興に寄与する事業展開を期待する。

施設の現状

名古屋市障害者スポーツセンター(1か所)

施設の現状	施設概要							
	障害者を対象に、スポーツに関する各種相談に応ずるとともに、スポーツ、レクリエーション等を通じて健康の増進を図ることにより、障害者の福祉の向上に寄与することを目的として設置された施設です。 具体的には、スポーツに関する相談・指導、スポーツ教室やスポーツ大会の開催、スポーツ指導員・ボランティアの養成を行っております。							
	市の収支状況(千円)（2年度決算見込み額）							
	支出			収入				
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	利用料金
	277,782	0	277,782	27	6,007	271,748	277,782	
	特記事項							
管理運営指標の状況	取組状況							
	指標		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	延べ利用者数		人	127,104	125,774	95,333	39,927	
	プールの利用者数		人	34,320	35,839	22,802	14,474	
	体育室の利用者数		人	27,300	22,591	18,174	5,473	
	特記事項							
	平成28年度は、空調、電気設備、外壁工事のため、3ヶ月休館したことにより延べ利用者が減少しました。平成30年度は、個人利用が増加した半面、団体利用が減少したため、延べ利用者数は前年度を下回っています。 令和元年度は、給水給湯管改修工事に伴い、令和元年11月11日～令和2年1月12日まで全館の利用を、プール多目的更衣室等改修工事に伴い、令和元年11月1日～令和2年3月31日までプール及び1階ロビーの一部の利用を停止し、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年3月2日～3月31日まで臨時休館した影響で延べ利用者数、プールの利用者数及び体育室の利用者数ともに前年度を下回っています。 令和2年度は、元年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年4月1日～5月31日まで臨時休館、6月1日～7月31日までは、団体利用およびプールの利用は停止、個人利用は17時までの時短措置としたほか、令和3年1月18日～2月28日も個人・団体ともに17時までの時短措置とした。また、スポーツ教室、種目別練習日も中止が相次ぎ、延べ利用者数、プール、体育室すべてにおいて、利用者数が前年度を下回っています。							

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費等を記載